

参加費
無料

実技協会員向け 学びと交流の オンライン勉強会（第2回）

環境省による実験動物取扱いの実態調査結果 ～実験動物の適正飼養を考える～

日時 2024年12月19日（木）午後6時より（60分+α）

開催形式 teamsを利用したウェビナー形式

参加資格 実技協個人会員・賛助会員（人数制限なし）

申込方法 事前に下記URLよりteamsウェビナー登録を済ませて
ください（締切：12/16（月）17:00）

<https://x.gd/dZCeD>



勉強会の趣旨と概要

実技協人材育成・教育研修部では、動物実験技術や実験動物技術者をとりまく内容について、気軽に参加できるオンライン勉強会を開催しています。

今回（第2回目）は、環境省・動物愛護管理室が昨年実施しました「実験動物取扱いの実態に関する調査」の結果につきまして動物愛護管理室より話題提供していただきます（※）。

今回の勉強会を通じて実験動物の適正な取り扱いについて考える機会となれば幸いです。なお、話題提供の後に気軽に質疑応答や意見交換できる場を設ける予定です。

（※）この調査は、環境省動物愛護管理によりまして国内における実験動物の飼育施設に対する実験動物取扱いの実態を把握するために令和5年度に行われました。この度集計が終わりその結果につきましては本年11月7日に環境省のWebサイトで公開されています。

話題提供：佐藤 暢彦 先生

（環境省自然環境局総務課 動物愛護管理室指導調整専門官）

【動物愛護管理法と実験動物取扱いの実態に関する調査について】

動物愛護管理法（以下「法」、という。）は、人と動物の共生する社会の実現を図ることを目的とした法律であり、動物を科学上の利用に供する場合の方法等についても規定がされている。また、法に基づく実験動物の適正飼養と動物実験の適正化の仕組みとして、我が国では機関管理体制がとられている。今般、法及び実験動物に関する規制、令和5年度に全国的に実施した実験動物取扱いの実態に関する調査の結果概要について解説を行う。

オンデマンド視聴

※話題提供の部分のみ
後日ご案内します

主催：（一社）日本実験動物技術者協会 人材育成・教育研修部



jaeat_jinzai@yellowdeer6.sakura.ne.jp